

第7期 新宿区多文化共生まちづくり会議 第8回（部会） 議事概要

日 時 令和8年3月25日（水）10:00～12:00

場 所 しんじゅく多文化共生プラザ

出席委員 小林委員、毛受委員、伊藤委員、郭委員、長谷部委員、岩野委員、ゼヤー委員、李委員、江副委員、鈴木委員、立川委員、原田委員、センブ委員、南委員、山口委員 15名

1 開会

2 これまでの会議の概要

事務局から資料をもとに説明を受けた。

3 事務局からの情報提供

事務局から「しんじゅく多文化共生プラザ開設20周年イベント」「地域の交流事例」について説明を受けた。

4 意見交換

- ・地域の外国人がイベントに参加している。特に子ども向けのイベントに参加していると感じている。
- ・地域で外国人向けの防災訓練をやった。町会、商店街と外国人の距離が縮まった感じがした。
- ・大久保地域のクリーン活動にネパール人が大勢参加している。
- ・「新大久保インターフェス」というイベントを開催する。日本、韓国、ベトナム、ネパール、バングラデシュ、中国の人たちが参加して準備をしている。
- ・子どもに関連する行事には、親は出ていくと思う。
- ・子どもの健診や予防注射は、イベント周知のチャンスだと思う。
- ・行政だけではできないことがある。NPOに活動してもらうのがよいと思う。
- ・交流のターゲットは子育て層だけでなく、高齢者層、若者層もあると思う。
- ・子育ては大変で、子どもとお母さん二人きりだと孤独を感じる。子どもの遊び場などの子育て情報が欲しい。
- ・多文化共生の理解が大事だと感じている。
- ・文化を伝えるイベントはとてもよい。
- ・文化体験で参加者は満足するが、日本人と外国人の交流にまで至っていない。例えば学生ボランティアが参加すると、交流につながると思う。
- ・交流イベントの情報を届けるためには、NPO団体が母国語で伝えていくことが必要。
- ・外国人コミュニティに声をかけて、区の職員にごみの捨て方を教えてもらったととても効果があった。
- ・外国人は受け身になってしまう。お祭りなどは、日本人から外国人に声をかけてくれると参加しやすい。
- ・外国の歌や踊りの発表会をやっている。
- ・1人1品の料理を持ち寄って交流会をやっている。日本人と外国人や子どもも参加している。
- ・留学生などが新宿の文化や歴史を自ら勉強し、新しく来日した外国人に新宿の魅力を伝えていくとよい。
- ・学童保育や児童館では、子どもたちは日本人も外国人も楽しく過ごしている。
- ・外国の文化の勉強会をやって、その後、外国の料理を食べに行くといったイベントはニーズがあると思う。
- ・町会や自治会では、外国人を受け入れて仲良くするにはどうしたらよいか話し合っている。

- ・外国人の高齢者に声をかけて交流を重ねていくことが課題になると思う。
- ・地域のイベントに外国人が参加するだけでなく、外国人コミュニティのイベントに日本人が参加するよう呼びかけるとよい。

5 その他

6 閉会